

◆第4次伊賀市障がい者福祉計画（中間案）に対するパブリックコメント意見及び回答

意見者	ページ	該当箇所	ご意見	回 答	計画への反映	担当課
A	18	視点4 ユニバーサルデザインのまちづくりを推進するに関して	公共施設、民間施設についての記述はないが、まちづくりの推進なので官民共に推進すると明確に記載した方が分かりやすい。	本計画では従来から官民が共に取り組みを進めているところです。今後も、民の役割も意識した取り組みを推進します。なお、この視点ではユニバーサルデザインの大きな枠で記載のため、現在の記載とします。	反映しない	医療福祉政策課
	23	①総合的できめ細やかな情報提供の充実の内容に関して	高齢になると聴覚機能が低下する人が多くなるので、行政が出す情報番組には字幕を入れて分かりやすくすると記載する。	個別の施策の手法については、各課の事業実施目標にて取り組みますので本計画では現在の記載とします。	反映しない	広聴情報課
	30	③金銭管理に関する支援の推進の内容に関して	日常生活自立支援事業の利用を促進しますとあるが、それと並行して事業の安定化も図るようにすると記載する。	個別の施策の手法については、各課の事業実施目標にて取り組みますので本計画では現在の記載とします。	反映しない	介護高齢福祉課
	31	①福祉人材の確保・育成のための支援の内容に関して	今回の内容では市が積極的に講習会を開催して、人材育成をする内容とはなっていないので、更に踏み込んだ人づくりをする記述とする。	人材育成については、重要な課題であると認識しておりますので、次の文を追記します。 『福祉人材確保・育成のため、県やさまざまな機関が実施する資格取得等のための講習や研修などの情報を広く収集し周知します。また、潜在有資格者の掘り起こし等にも努めます。』	反映する	障がい福祉課
	36	現状と課題の記述の内容に関して	本市では緊急時に利用できる短期入所事業所が長年不足しており、アンケートでも短期入所サービスを求める割合が高くなっています。との記述があるが、取り組み内容では緊急性を感じないので「早急に」受け入れ体制を整えると記述した方がよい。	この計画を基に数値目標として策定される「第6期障がい福祉計画」については、いただいたご意見を参考に作成していきます。	反映しない	障がい福祉課
	42	現状と課題について	学齢期の子どもの教育・療育の推進の中で、今般の市のギガスクール、ICT化についての記述が全くないが何故なのか。方向性を示し記載すべきである。	ICTの導入によるGIGAスクール構想の推進は、学校教育総体として取組を進めていきます。ただ、ご指摘いただいたとおり、一人一台タブレットの効果的な活用は、特別支援教育においても重要であると考えますので、次の文を追記します。 『障がいのある子どもへの教育を充実させるために、一人一台タブレット等のICT機器を活用し、子どものニーズに応じた特別支援教育を進めます。』	反映する	学校教育課
56	下段の福祉有償運送の説明文について	「単独で」移動が困難な移動制約者と説明する。「単独で」が抜け落ちている。	ご意見のとおり修正します。	反映する	障がい福祉課	